

## 一年間を振り返って

南筑後支部 南筑後県土整備事務所 今村匠

### 概要

県庁に入庁してからの一年間を振り返って

県庁に入庁してもう早くも1年が過ぎようとしています。ついこの前、これからの県職員としての生活に不安と緊張を抱えながら、入庁式に参加したような気がしています。社会人として、県職員として1年目であったこの一年間は、これまでと大きく変化した環境等に不安なことも多くありましたが、周りの方々に様々な助けをいただいたことでどうにか仕事に取り組んでいくことが出来たと思います。

私は砂防港湾係という所に配属されました。砂防、港湾という言葉の意味はなんとなく知っていたつもりですが、実際にどのような仕事をするのかは全く検討もつきませんでした。そのような0からのスタートでしたが、同じ係の先輩方から、一つ一つ仕事内容について教えていただいたり、多くの現場に連れて行っていただいたりしたことで、仕事内容や作業の進め方など、一年間で多くのことを学んできました。正直なところ具体的な知識といったところは、まだまだ足りておらずこれからも継続して勉強していく必要があると思います。しかし、専門的な知識以外にも仕事をしていく上で大切にするべきことや、作業を効率的に進めるための方法なども様々な教わりました。このような仕事の基本的なことは、今後必要不可欠であり、また、1年目の今だからこそ色々教えていただけたと思います。だからこそ、2年目でもこの学んだ仕事の基本的なことを自分の物とし、基礎を固めてしっかりとした土台を作った上で、専門的な知識といったものを積み重ねていきたいと思っています。

一年間を振り返って感じたことは、人とのつながりの大切さです。仕事は一人だけで全て出来る物では無く、今は先輩方に頼ってばかりですが、職場の人とお互いに頼り頼られ仕事を進めていくことが多いと感じました。また、分からないことを質問する時や、何かお願い事をする時にも、全く面識が無い状態に比べると、少しでも顔を知っていた方が声のかけやすさなど違ってくると感じます。所属が違う人であっても、いつどんなときに一緒に仕事をする機会があるか分かりません。だからこそ、いろいろなところで、つながりを広げてきたいと思っています。また、つながりを広げるだけで無く、同期とのつながりをとても大切にしたいと思っています。同期だからこそどんな些細なことも話しやすいですし、似たような悩みについても話し合えます。今後、仕事を続けていく中で様々なことがあると思いますが、一人で悩みすぎないで、同期のように話がしやすい人に相談するなどしていきたいと思っています。

一年間が本当にあつという間で、もうすぐ後輩ができるということが信じられません。一年間でどれぐらい成長できたのか不安に思うこともあります。着実に一歩ずつ前に進めるよう努力していきたいと思います。また、まだまだ未熟で失敗することもあると思いますが、失敗を振り返り失敗を糧に成長することを大切にしたいです。そして、県職員として自分に出来ることをこれからも頑張っていきたいです。